

第30回 和歌山県皮膚科医会学術講演会

開催日時：平成22年3月27日(土) 15時30分より

開催場所：和歌山ビック愛 12F 1201会議室

〒640-8319 和歌山市手平二丁目1-2 TEL073-435-5200

* 皮膚科以外の先生方のご参加を歓迎します

＜プログラム＞

製品紹介 アレルギー性疾患治療剤『アレジオン錠』について

日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

司会：日赤和歌山医療センター皮膚科 辻岡 馨 先生

I. 和歌山県社国保審査委員合同協議会の報告

久保皮膚科・内科 久保 邦臣 先生

II. 和医大レポートとサーベイランスの報告

座長：和歌山県立医科大学皮膚科 金澤 伸雄 先生

演題：平成21年度皮膚がん無料相談の報告

和歌山県立医科大学皮膚科 岡本 勝行 先生

演題：和歌山県立医科大学付属病院皮膚科の病診連携報告その13

和歌山県立医科大学皮膚科 米井 希 先生

演題：和歌山県皮膚科医会サーベイランス報告

和歌山皮膚科医会 滋野医院 滋野 広 先生

III. 特別講演

座長：和歌山県立医科大学皮膚科 教授 古川福実 先生

演題：「どうみる？どう読む？膠原病の皮疹—その実践的アプローチについて—」

講師：東京大学大学院医学系研究科 皮膚科学

教授 佐藤 伸一 先生

特別講演の要旨

膠原病で見られる皮疹は、診断のきっかけになるだけでなく、活動性の評価、特定の病態と関連する場合にはその予測など多彩かつ重要な臨床的意義を有する。膠原病の皮疹を観察する場合、最も大切な点は見落とさないということである。「見れども見えず」といわれるように、すべての皮疹は自ずと我々の目にとまるものではなく、見ようとする姿勢がなければ見落としてしまう皮疹が多い。この観点から、系統的に皮疹を診る必要性が強調されなければならない。

本講演では、膠原病の皮疹のみかたを、その臨床的意義や疾患活動性との相関について触れながら概説したい。

日医生涯教育講座参加証を交付いたしますので受け付けでお受け取り下さい

* 学術講演会終了後、情報交換会を予定しております

＜共催＞

和歌山県皮膚科医会・和歌山市医師会皮膚科部会・日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社